

第20期 登山学校 第5回「岩登り入門」に参加して

第2班 板橋 理曜 (いたばし りよ) 記

机上講座 10月3日(土) コミュニティーセンター

登山学校の皆さんとも、かなり打ち解けてきた10月。今回は岩登り講座。水谷講師の分かりやすい講義に、ぐいぐい引き込まれていきました。が、聞くほどに募る不安。想像しただけで汗がでてきます。午後は、榎本(御夫妻)講師によるお手製クライミングウォール(秀作です)が登場!水谷講師の指示のもと一人ずつ登りました。見るよりも実際は難しいです。休憩時には、難易度の高いクライミングウォールを軽快に登るK女史、S女史。たまたま近くで見ていたことが災いし、高所恐怖症の自分が登るはめに…。案の定、足が震える始末。実技が思いやられます。続けてロープワークで、ムンターヒッチ、クレイムハイストノット、エイトノットなどを練習。家での復習が少しばかり役に立った感じはしますが、中年の記憶力は当てにならないことに気付いた帰り道でした。

実技 10月4日(日) 日和田グレンデ

前回の失態から、目的地に時間に到着できるかとドキドキの朝。同期生達も心配し、連絡がきていました。仲間とは有り難いものです。日和田グレンデへ向かい子供岩と対面。可愛いネーミングに騙されては、いけません。反抗期に入った男子中学生を思わせる岩場…。伊藤、高橋両講師に運命を預け?、小松講師の叱咤激励で登ると頂上にいる赤ヘルの山口講師にタッチ。そして、恐怖の下りへ。アクロバティック!?と見間違ふほどに上体を寝かせての下降中、振り子運動が発生すること×2回。「何か降ってきたぞ!」と叫ぶ榎本(夫)講師の声。正しく安全に行うことがいかに大切か身をもって体験。次に、子供岩の隣斜面へ移動。磯野講師にクレイムハイストを確認してもらい駒崎講師が待機する場所まで登り、今度は小林講師から丁寧な説明を受けてムンターで下ると笑顔の榎本(妻)講師が待っていました。午後の部は女岩の隣斜面で尾出講師から指導を受けた後に3点支持で登攀し、八木原講師が見守る中で下降。最後は子供岩でのトラバース練習へ。高野講師の誘導でトラバースしましたが、手が震えてカラビナのかけ替えが難航。終了直後は、軽く放心状態。そんな中で、同班のS.Iさんのギャグが救いに。名誉の負傷?で絆創膏のお世話になったのは、I.Uさんと私。お互いにタフな体で良かった。待機の間青春時代の1コマを思わせる写真撮影を受けていたK女史、T.Uさん、オレンジのメットが似合うM.Iさん。2班は6名全員、ダブルエイトノットの方法をクリアしていました。そう、忘れてはいけないのは岩登りにchallengeした高野講師に、生徒一同が拍手!で終了。人生の中で岩登りをする事になろうとは思いませんでした。新しいことに挑戦できるのも登山学校の講師陣と同期生がいてこそですね!あと、3回となりますが宜しくお願いします。



第20期登山学校「岩登り入門」に参加して 新座山の会 福田隆徳記

1日目: 個人的には、1月より岩登りを続けていますが、机上での理論、実技体験と基本的な学習を、一つ一つ確認しながら学ぶことが出来ました。

2日目: 登山中に会える岩場を想定してのトラバース、岩登り、懸垂下降と内容の充実した、実践的な実技でした。午後になって、みんなが、ムンターヒッチでの懸垂下降に慣れてきました。これは、登山学校での指導、練習の成果だと思いました。



第20期 登山学校 第5回「岩登り入門」に参加して 3班 若月恵子記
10/3(土) 机上 武蔵浦和コミュニケーションセンター
午前

尾根歩きや縦走などで、岩場を通過する際の危険性と安全性の説明。

三点確保や手のかけ方、足の置き方など

午後

班毎の講習で、運営委員手作りのクライミングボードで手のかけ方、足の置き方等の実技を受ける。又、ロープを使い、トラバースや、ムンターヒッチでの懸垂降下や、クレムハイストの練習をする。

10/4(日) 実技 日和田山(高麗駅9:00集合)

午前 いつもの準備体操をして 9:20分スタート

3班は子供岩の隣の傾斜をクレムハイストで登り、トラバースして、ムンターヒッチでの懸垂下降からのスタートです。前回のロープワーク時よりも斜度や長さなど条件がきつかったのです。インラインの下降では手が熱くなってしまいました。子供岩の登り降りには足元が不安定でつい手の力で登ってしまいました。

降りるときも、後傾のタイミングと足の移動が上手く出来ず、思わず大きな声を出してしまいました。恐かった!

午後 女岩の斜面でのクレムハイストとムンターヒッチでの懸垂下降、下降の時に落石がありました。危険な場面でした。子供岩でのトラバース、観るとするとは大違いで、なかなかスムーズにはいきませんでした。やはり足場の確保がむずかしいです。カラビナの移動を忘れてたりしてすべき事ができない。

3班は最後だったので大トリは班長の横尾さんに締めてもらいました。

お疲れ様でした。

いつも思うのが、登山学校での実技は反復練習を多く取り入れています。だから、覚えやすいし、個人練習もしやすいです。

皆様、お疲れ様でした、そしてありがとうございました。